

せたがやくりつだいざわ
世田谷区立代沢 しょうがっこう みな
小学校の皆さんへ



6 がつ 月

ワンコインクラブ



ヒマワリ [キク科 ヘリアンサス属]

観賞用として親しまれているヒマワリですが、**原産**は北米で、紀元前からインディアンが食用として栽培していました。16世紀になってヨーロッパから日本に伝わり、観賞用として品種改良が進められました。属名の「ヘリアンサス」とは、「太陽」と「花」という意味を持つ、ふたつの言葉からなっています。

フサスグリ [スグリ科 スグリ属]

ヨーロッパには古くから自生していましたが、日本に伝わったのは明治時代です。栽培がはじめられたのは比較的新しく、16世紀になってからだそうです。ヨーロッパでは、酸味のある実をジャムやゼリーなどの原料として使用しています。ワンコインクラブで使用するお花は、食用ではないので食べられません。



スモークツリー [ウルシ科 ハグマノキ属]

ふわふわした花穂が煙のように見えることから「スモークツリー（煙の木）」と呼ばれています。属名は「ハグマ」という毛でつくられたはたきに見立てたことに由来しています。明治時代に日本に導入されました。煙のような部分は元々は花の茎で、先端に緑色の玉が付いていますが、これが果実です。



ホスタ [キジカクシ科 キボウシ属]

もともと日本に自生していた植物ですが、世界中で開発が進められて日本に返ってきました。うんと若い葉は「ウレイ」などと呼ばれ、日本でも春の山菜として食べられることがあります。花の蕾の形が橋の欄干にある「擬宝珠」と呼ばれる丸い飾りに似ていることからこの名がつけられました。

お花は世界中からやって来ています！世界中からやってくるお花と出会ってください！

